施策評価シート（ 令和3　年度の振り返り、総括）

作成日	令和4 年　04月　04日

施策 No.	3	施策名	国際化に対応した教育
主管課名	学校教育課	電話番号	0285-81-9052
関係課名	学校教育課、生涯学習課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市内の義務教育課程の児童生徒						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
児童生徒数	人	6,638	6,562				

施策の目標	社会環境が大きく変化しグローバル化が一層進展する中で、国際的な視野を持ち、豊かな語学力やコミュニケーション能力を身につけた児童生徒を育成します。 また、国籍や文化の違いに関わらず、互いに支え合い共に生きていく力を育みます。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・真岡市総合学力調査（英語）の平均正答率における全国比との差を使用する。 ・全国学力・学習状況調査「英語が好き」と答えた児童の割合を使用する。 ・とちぎっ子学習状況調査「英語が好き」と答えた生徒の割合を使用する。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
中学2年生の真岡市総合学力調査(英語)の平均正答率における全国比との差	目標値	ポイント	-2.3	-1.3	-0.3	0.7	1.7	2.5	+2.5
	実績値			実施無	3.6				
全国学力・学習状況調査「英語が好き」と答えた小学6年生の割合	目標値	%	ー（項目なし）	64.0	68.0	72.0	76.0	80	80%
	実績値			実施無	75.1				
とちぎっ子学習状況調査「英語が好き」と答えた中学2年生の割合	目標値	%	59.5	63.6	67.7	71.8	75.9	80	80%
	実績値			実施無	59.0				
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民は、国際的な視野を育成し、相互理解を深めるため、異文化交流の場等に積極的に参加する。 行政は、国際交流や英語教育の充実に向けた環境整備や指導者の人材確保に努める。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

令和3年度真岡市総合学力調査およびとちぎっ子学習状況調査の実績値によると、令和元年度の中学2年生の真岡市総合学力調査（英語）の平均正答率における全国比との差：+1.8ポイントからさらに向上しており、英語の学力が向上していることがわかる。

しかし、とちぎっ子学習状況調査「英語が好き」と答えた中学2年生の割合は、令和元年度65.4%と比較して6.4%減少しており、今後中学校において生徒が英語への興味関心を高め、英語を用いたコミュニケーションを楽しむための取り組みにさらに力を入れていく必要がある。

また、今年度より新たに質問項目が設けられた、全国学力・学習状況調査での「英語が好き」と答えた小学6年生の割合については、75.1%の児童が肯定的な回答をしていることから、令和2年度からの新学習指導要領全面実施による小学校５，６年生の外国語活動が教科化に向け、英語指導力向上専門員の配置等、教科化がスムーズに導入できるための取組を行ってきた成果が見られる。

令和3年度の国際理解教育・英語教育に関する取組状況は以下のとおり。

・外国語活動支援員(JTE)および英語指導助手（AET）、英語指導力向上専門員を活用し、英語教育の充実を図った。
・英語検定料・漢字検定料の助成により、英語能力および日本語能力の育成を図った（英語検定料助成対象者：247名、漢字検定料助成対象者：60名）。
・教育国際交流については、中学校6校で姉妹校を締結済。新型コロナウイルス感染症の影響で海外渡航および受け入れはいずれも中止としたが、オンライン等を活用した交流を推進した。二宮地区3中学校（長沼・久下田・物部中学校）の姉妹校締結に向け、オーストラリアのハーヴィー・シニアハイスクールとのオンライン交流を実施した。
・小学校5～6年生を対象としたイングリッシュ・サマーキャンプについては、新型コロナウイルス感染症対策のため拡大防止のため宿泊形式から日帰りに変更して実施した。
・高校生の海外留学支援については、令和3年度の応募はなかった(令和元年度は9名・令和2年度は0名)。
・外国人児童生徒拠点校に設置されている日本語学級において日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対し、2人の日本語指導助手（ポルトガル語・スペイン語通訳）を配置した。
・学校から外国人保護者への多言語によるメール送信システム「E-Traノート」の実証実験に日本語教室拠点校8校が参加し、導入に向けた検討を行った。
・外国人生徒と保護者向けの「多言語による進学ガイダンス」を市独自で初めて実施し、外国人生徒のスムーズな高校進学への支援体制を整えた。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

外国語活動支援員(JTE)および英語指導助手（AET）、英語指導力向上専門員の効果的な活用により英語教育を充実させ、引き続き英語力ならびにコミュニケーションの能力の向上を図る。

英語検定料・漢字検定料については、漢字検定の助成対象をすべての級に拡大するとともに申請方法を郵送のみから窓口による受付も可とし、制度を利用しやすくすることで、児童生徒の英語能力および日本語能力のさらなる育成を図る。

姉妹校交流については、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあることから、今後もオンライン等を活用し、姉妹校との関係性の維持向上を図る。また、令和4年度にオーストラリア　ハーヴィー市と本市との友好都市締結が予定されていることから、友好都市との二宮地区3中学校の姉妹校締結に向けた具体的な取組を進めて行く。高校生の海外留学支援についても、引き続き継続する。

外国人保護者への多言語によるメール送信システム「E-Traノート」の実証実験の結果を踏まえ、市内小中学校への導入と積極的な活用を推進し、外国人児童生徒および保護者へのきめ細かな支援体制を整える。外国人生徒と保護者向けの「多言語による進学ガイダンス」については、開催時期を早めることで高校進学に向けた準備を余裕を持って行えるよう支援する。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和3 年度実績	今後の方向性
1	総重	イングリッシュ・サマー・キャンプ事業	学校教育課教育政策係	コミュニケーション力が高まったと感じている児童の割合	%	100	現状維持
2	総重	英語・漢字検定助成事業	学校教育課教育政策係	英語および日本語能力が高まった児童生徒の割合	%	100	現状維持
3	総重	英語指導力向上専門員配置事業	学校教育課教育政策係	英語指導力が向上した教員の割合	%	100	現状維持
4	総重	英語指導助手（AET・JTE)配置事業	学校教育課教育政策係	英語の学習効果が高まった児童生徒の割合	%	100	現状維持
				中学2年生の真岡市総合学力調査(英語)の平均正答率における全国比との差	ポイント	3.6	現状維持
				全国学力・学習状況調査「英語が好き」と答えた小学6年生の割合	%	75.1	現状維持
				とちぎっ子学習状況調査「英語が好き」と答えた中学2年生の割合	%	59.0	現状維持
5	総重	教育交流訪問団の受入・派遣事業	学校教育課教育政策係	国際理解が深まった生徒数	人	ー	現状維持
6		日本語指導助手派遣事業	学校教育課教育政策係	日本語指導を必要とする外国人児童生徒数	人	129	現状維持
				派遣時数	時間	1890	現状維持